

CATP-Auto

運用手順書

平成 10 年 3 月

国立大学図書館協議会
図書館情報システム特別委員会
次期電算化システム専門委員会

はじめに

国立大学図書館協議会は、大学図書館における標準的な業務システムの方策策定を目指して、平成5年6月、図書館情報システム特別委員会の中に次期電算化システム専門委員会を設置し、検討を行ってまいりました。大学図書館における電子図書館的機能の整備は、当面する最も重要な課題の一つですが、その基本となる方策は、所蔵資料の電子化の推進であり、そのためには、「目録所在情報の電子化」が基礎となります。

そこで、当委員会としては、昨年7月より、この課題達成のため、学術情報センターの「新目録所在情報システム」と各大学図書館の業務システムとの結合を実現することが現下の急務であると考え、そのための仕様の作成及びシステム開発に取り組んでまいりました。

本システムは、学術情報センターの「新目録所在情報システム」へ各図書館等の所蔵データを自動的に登録することができ、しかも、通常の間外にもデータの登録業務が可能となっております。また、このシステムは、汎用の所蔵バッチ処理クライアント・ソフトウェアとして、様々な目録関連業務の用途にも活用できるものであります。

本システムを活用することによって、目録情報の電子化の促進に役立てていただければ幸いです。

このシステム開発の実現のために、終始、精力的に取り組んでいただいた委員諸氏をはじめとして、貴重なご助言、ご支援をいただいた文部省学術国際局学術情報課の小林専門員及び井深大学図書館係長、また、システムの詳細について貴重なご意見をいただいた学術情報センター事業部目録情報課のスタッフ諸氏に深く感謝申し上げます。

平成10年3月

国立大学図書館協議会
図書館情報システム特別委員会
次期電算化システム専門委員会
主査 笹川 郁夫

凡 例

- 1 . 本手順書は、平成 10 年 3 月 31 日現在の仕様に基づいて作成しています。
- 2 . CATP-Auto は、初期設定では、新目録所在情報サービスの教育用サーバに接続するようになっています。業務用として利用する場合は、同梱の「自動登録ソフト使用届出書」に必要な事項を記入し、下記申請先に提出してください（FAX で可）。申請後、学術情報センターの指示に従い、CATP-Auto のサーバ設定画面で業務用の URL を指定してから、利用を開始してください。

（申請先）

学術情報センター事業部目録情報課図書目録情報係
〒112-8640 東京都文京区大塚 3-29-1
電 話：03-3942-6983
F A X：03-3944-7131

- 3 . 本手順書及び CATP-Auto プログラムに関してのご意見・ご質問等は、下記問い合わせ先をお願いします。

（問い合わせ先）

平成 9 年度次期電算化システム専門委員会事務局担当
東京大学附属図書館総務課システム管理掛
〒113-0033
東京都文京区本郷 7-3-1
電 話：03(3812)2111（代表）
内線 2614
F A X：03(3818)0146
電子メール：syskan@lib.u-tokyo.ac.jp

目次

はじめに

1. 機能概要..... 1

- CATP-Auto とは何か
- CATP-Auto で何が出来るか
- CATP-Auto を使うために何が必要か
- CATP-Auto を利用する上での注意事項

2. 導入準備..... 4

- 2.1 CATP-Auto のインストール
- 2.2 CATP-Auto のオプション設定
 - (1) サーバ設定画面
 - (2) ファイル設定画面
 - (3) 出力編集設定画面
 - (4) Vol 処理設定画面
 - (5) その他の設定画面
- 2.3 関連ファイルの設定
 - (1) フィールド名読み換えテーブル(FieldCnv.txt)の設定
 - (2) Vol 正規化辞書ファイル(volreg.dic)の設定

3. 業務の手順 14

- 3.1 アップロードデータの作成
 - (1) 外部ツールを利用したデータ作成
 - (2) CATP-Auto の簡易入力エディタによるデータ作成
 - (3) その他の方法によるデータ作成
- 3.2 アップロードファイルの入力規則
 - (1) 検索データ
 - (2) 登録データ
 - (3) 動作指示コマンド
 - (4) コメント行
- 3.3 CATP-Auto の操作の流れ
 - (1) CATP-Auto の制御画面
 - (2) アップロードファイルの追加・削除
 - (3) アップロードファイルのエラーチェック
 - (4) 実行開始時刻・終了時刻の指定
 - (5) 処理の実行・中断・終了

4. 書誌ルートによる登録の実際..... 24

- 4.1 自動登録のロジック
 - (1) 書誌レコードの検索・同定
 - (2) 出版物理単位の特特定
 - (3) 所蔵レコードの登録
- 4.2 検索キーの選択

- (1) ISBN (フィールド名: ISBNKEY)
 - (2) フルタイトルキー (フィールド名: FTITLEKEY)
 - (3) 仮想検索キーフィールド
 - (4) 検索キーの組み合わせ
 - 4.3 アップロードファイル作成上の注意事項
 - (1) アップロードファイルの作成単位
 - (2) 多巻ものの登録
 - (3) ダブルコロン (::) ダブルイコール (==) の活用
 - (4) フィールド名の読み替え処理
 - (5) 同一フィールドの複数指定
 - (6) フルタイトルキーの長さ
 - (7) コメント行の書き方
 - (8) 所蔵データ登録
 - 4.4 事例
 - (1) ISBN による検索
 - (2) ISBN 以外による検索
 - (3) 所蔵レコード登録
 - 4.5 雑誌の所蔵登録
 - (1) 自動登録のロジック
 - (2) アップロードファイルの作成
 - (3) 事例
 - 5. 所蔵ルートによる登録の実際.....
- 53
- 5.1 雑誌の所蔵一括登録
 - (1) 所蔵レコードの新規登録
 - (2) 所蔵レコードの修正
 - (3) 所蔵レコードの削除
 - 5.2 配置コードの一括付け替え
 - 5.3 所蔵レコードの一括削除
 - 5.4 応用的な処理を必要とする作業
 - (1) 配置コードの統合
 - (2) 配置コードの分割
 - (3) 図書所蔵レコードの再作成

附録1 CATP-Auto 書誌レコードの検索・同定の流れ

附録2 CATP-Auto 所蔵レコードの登録の流れ

附録3 検索キーの有効性に関する実験